

〔基本A〕 古文① 『醒睡笑』より

仮名遣い・古語下りル

● 次の語を現代仮名遣いにして、すべて平仮名で書きなさい。

- ① あはれ ( )
- ② もの思ひ ( )
- ③ をかし ( )
- ④ こゑ ( )
- ⑤ やうやう ( )
- ⑥ わづか ( )
- ⑦ まゐる ( )
- ⑧ 伝える ( )
- ⑨ 戦はむ ( )
- ⑩ けふ ( )

3 × 10

● 次の古語の意味を、あとから一つずつ選びなさい。

(古語には複数の意味がありますが、ここでは代表的なものを取り上げています。)

- ① うつくし ( )
  - ② あやし ( )
  - ③ いと ( )
  - ④ あまた ( )
  - ⑤ よろづ ( )
- ア いろいろ ( )    イ かわいらしい ( )  
 ウ どうして ( )    エ 非常に ( )  
 オ たくさん ( )    カ 不思議だ ( )

3 × 5

● 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

小僧あり。小夜ふけて①長棹をもち、庭をあなたこなたと小僧がいる。夜もふけて、長い棹を持ち、庭をあちこちうへと振りまはる。坊主②これを見つて、「それは何事をするぞ」と振り回す。坊主がこれを見つけて、「それは何をしているのか」と

問ふ。「空の星がほし々に、うち落とさんとすれども落ちぬ」尋ねる。「空の星がほしくて、ただき落とすつもりなのですが落ちません」と。

と。「さてさて鈍なるやつや。それほど③作がなつてなるもの。なんとまああるかきだ。それはとまで工夫がなくてうしろものだ。

か。そこからは棹がとどくまい。屋根へあがれ」といはれた。そこからでは棹が届かないだろう。屋根に上がりなさい」とおっしゃった。

1 「問ふ」「いはれた」を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

・ 問ふ……………

・ いはれた……

10 × 2

2 ① 「長棹をもち、庭をあなたこなたと振りまはる」とあるが、何のためか。次の文の□に入る言葉を、古文中から三字で書き抜きなさい。

\* □を取るため。

10

3 ② 「作」がないとは、ここでは「工夫がない」という意味であるが、坊主は小僧にどのようなアドバイスをしたのか。古文中から六字で書き抜きなさい。

10

4 この文章の内容に合うものを、次から一つ選びなさい。

15

- ア 小僧は坊主の教えを受け、目的を果たすことができた。
- イ 小僧は坊主の教えを聞かずに、むだな努力を続けた。
- ウ 坊主の教えは、小僧の発想と大差のないものだった。
- エ 坊主の教えは、小僧の浅はかな考えを改めさせた。